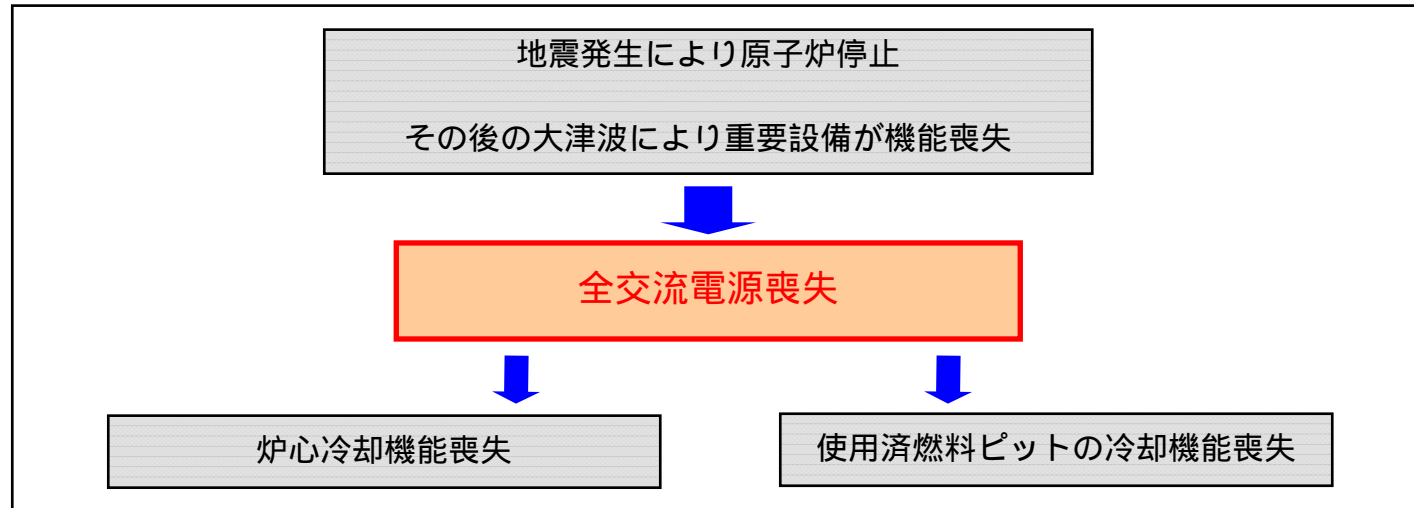
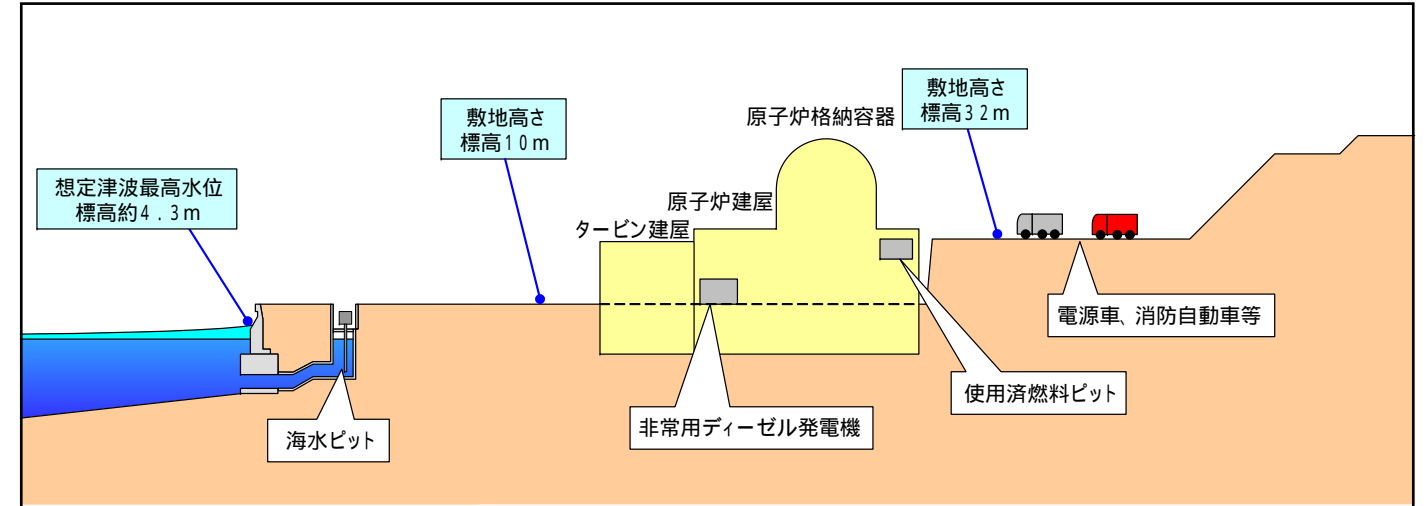


### 伊方発電所におけるより一層の安全・安心確保に向けた取り組み状況

#### 福島第一原子力発電所の事故の状況



#### 伊方発電所における安全系重要機器の位置図



#### 伊方発電所の安全強化対策

対策の分類		これまでに実施済みのもの	現在具体的に進めているもの	今後実施を検討するもの(今回公表)
ハード面の諸対策	電源確保策	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源車 7台(300kVA×3台、75kVA×3台、4500kVA)および重要個所への接続に必要な変圧器、電源ケーブルを、津波の影響を受けない場所(標高+32m)に配備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源の多様化を図るため、隣接する変電所から構内まで配電線(6600V)を全号機用として敷設 [5月工事開始予定]</li> <li>大容量の電源車 4台(約1800kVA×4台)を配備 [4月手配済]</li> <li>外部電源の信頼性確保のため、送電システムの信頼性評価と鉄塔等の補強など必要な対策の実施(今回公表)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常用ディーゼル発電機の追加設置</li> </ul>
	除熱機能の確保対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助給水タンクや使用済燃料ピットへ水を補給するための消防自動車、可搬型消防ポンプや消火ホースを津波の影響を受けない場所(標高+32m)に配備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急時の最終的な除熱機能を確保するため、海水ポンプモータの予備品を配備 [3月手配済]</li> <li>緊急時の最終的な除熱機能を確保するため、仮設ポンプ 28台を配備 [4月手配済]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防自動車 1台を、津波の影響を受けない場所(標高+32m)に追加配備</li> </ul>
	浸水対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>津波による浸水を防ぐため、安全上重要な機器を設置しているエリアの配管貫通部や入口扉等に、ゴムやシリコン等を用いたシール施工を実施(約80箇所)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全上重要な機器を設置している建屋の入口扉を水密扉等に変更(左記のシール施工箇所のうち約40箇所) [5月までに発注予定]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋内開閉所や海水ポンプエリアなどへの防水壁、防水ゲート等の設置</li> </ul>
ソフト面の諸対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>全交流電源喪失を想定したシミュレータ訓練</li> <li>緊急時対応の内規・手順書の策定および訓練</li> <li>非常用ディーゼル発電機の機能確認</li> <li>必要な設備および資機材の点検 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各対策の実行性検証および対応力の強化の観点からの訓練等の実施</li> <li>定期検査時の安全系重要機器の点検(今回公表)               <ul style="list-style-type: none"> <li>非常用ディーゼル発電機の機関、発電機</li> <li>海水ポンプの本体、モータ</li> <li>タービン動補助給水ポンプの本体、タービン など</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度を上げるための訓練等の継続実施</li> <li>〔新設の免震建屋の運用開始(12月予定)後には、緊急時対策所を使用した総合訓練を実施〕</li> </ul>